

## 民生福祉委員会のレポート

静岡県後期高齢者医療広域連合の県内市町負担金総額とその用途は。また、広域連合議員となる市町議会議員のバランスは。



耐震性貯水槽設置工事の様子（浅羽西公民館内）

負担金総額は3,058万円余（うち本市分は135万8,000円）で、用途は7人分の職員人件費や事務所使用料等の物件費及び工事費です。県内市町の数、市23、町19をもとに、市議会議員より6人、町議会議員より4人とされました。

耐震性貯水槽設置事業及び消防ポンプ自動車整備事業が合併特例債の適債事業となった理由は。

合併特例債は、合併に伴う新市の一体化や合併に伴い必要となった建設事業に充当する財源となります。

今回、適債事業となった耐震性貯水槽及び消防ポンプ自動車は、県との協議の中で合併に伴う建設事業として認められたものです。

## 建設経済委員会のレポート

春岡に磐田用水からパイプラインで用水を引くとのことだが、いままではどのようにしていたのか。また、受益者の負担は1反当たりいくら位になるのか。

これまでは宇刈川など流域の河川やため池から取水していました。受益者の負担は1反当たり約5万円になります。

笠原地区の簡易水道統合整備事業に関連し、消火栓の新設を当初の8基から17基に増やすとのことだが、その理由は何か。

西区では、当初の2基でカバーできていないと

ころを見直し、3基増設します。三輪地区も、当初の6基を、見直しにより3基増設します。また、当初設置予定になかった三沢地区で平成19年4月に児童福祉施設がオープン予定であり、周辺に住宅、山林が隣接しているため、新たに3基設置します。



簡易水道統合整備事業により設置された消火栓